

TOKYO MAIL NEWS



JR EAST
TRANSPORT
SERVICE WORKERS
UNION

輸送サービス労組 東京地本

JTSU-E TOKYO

2022.2.5
No. 195



1月31日
東地申35号

京「2021年度営業関係施策(その2)」についての申し入れ【品川駅】

団体交渉を行う!(その1)

1. 今回の提案内容「営業職△3、輸送職△3」を10月25日に受けて以降、新作業ダイヤや立番の廃止など現場では12月28日まで示されなかった理由について具体的に示すこと。

回答：施策実施に向けた必要な準備を進めていたものである。

- ◆具体的な中身は
- ◆要員は作業ダイヤを基に算出する考えに変化はあるのか?
- ◆12月・2月・3月と3回も作業ダイヤが変わる。社員が説明を求めても説明せず、紙面でのやりとりしか行われぬ。
- ◆提案後はオープンに話が出来ず。管理者に周知すべきだ。
- ◆年末年始輸送に絡む施策の検討はやめるべきだ。
- ◆実施日ありきだ。会社としての教育体制は?

組合

会社

- ◆12月5日の切り替えによる作業ダイヤ変更と混同しないよう、定着後に示してきた。
- ◆要員は作業ダイヤを基に算出する考えに変わりはない。**確認!**
- ◆支社と現場ではやりとりして来たが、社員に説明がなかったことは受け止める。今後、現場には念押しし、しっかりと説明したい。**確認!**
- ◆支社からも周知していく。
- ◆施策や切り替えなど様々なバランスを調整した結果。意見聴取の体制など支社内でも議論していく。
- ◆駅からはできると聞いている。

2. 第1ホーム(山手内周り)の終日立番を廃止する根拠と、立番(乗降終了合図)の必要な時間帯とその根拠を具体的に示すこと。また、終日立番廃止に伴い安全・安定輸送・サービス、それぞれ低下を招かないとする具体的な根拠を示すこと。

回答：車掌用ITVの整備による車掌の視認性が確保され、乗降終了合図の省略が可能となることから、お客さまのご利用状況等を勘案し、体制の見直しを行うものである。

- ◆駅社員はITVの画角を確認する機会を与えられていないが、見えない箇所がなくなったということか?
- ◆東京方の階段付近の滞留に対する認識は?
- ◆立番が必要な時間帯は、会社が必要だと判断しているということか?現場では、9:00での立番解除は難しいのではないかと認識だ。
- ◆案内も少なく、未だに外回りに乗りたいお客さまが内回りに降りてくる。列停扱も増えるのでは?
- ◆駅社員による施策検証・聞き取りなどの予定は?

組合

会社

- ◆その通り。乗務員区も確認し、画角に問題はない。**確認!**
- ◆駆け込み等も想定はしている。
- ◆その通り。お客さまの利用状況で残す時間を設定している。示している時間で問題ないが、状況を見て判断していく。
- ◆支社内でもバックアップ体制を検討していく。状況を見て対応していきたい。
- ◆行う予定はないが、主張は承る。

3. 第2ホーム北行(4番線)朝7:30~9:00、夕17:00~19:00の立番(乗降終了合図)を廃止する根拠を具体的に示すこと。

回答：お客さまのご利用状況等を踏まえ、乗降終了合図の見直しを行うものである。

- ◆外回り抑止によりホームが混雑した場合の対応は?
- ◆乗降終了合図が必要な状況に基準などは?
- ◆通対時間帯は立番が必要だという認識だ。朝・夕すらも見直す根拠は?

組合

会社

- ◆異常時は駅総体で対応してほしい。
- ◆判断は駅の管理者が行う。
- ◆お客さまの利用状況と設備を勘案。異常時を前提とした体制は出来ない。

4. これまでの施策における議論経過で、山手ホーム(第1ホーム)事務室が山手線・京浜東北線の情報拠点として位置づけられてきたことから、今後もこの考え方で行うこと。

回答：異常時においては、駅総体で対応することとなる。

- ◆現場は、山手線ホーム事務室が山手線、京浜東北線の情報拠点という認識だ。
- ◆列停拡大駅であり、対応力と安定性が低下する。

組合

会社

- ◆今後は輸送本部が情報拠点となる。
- ◆状況は見極めていく。

その2へつづく

TOKYO MAIL NEWS



JR EAST
TRANSPORT
SERVICE WORKERS
UNION

輸送サービス労組 東京地本

JTSU-E TOKYO

2022.2.5
No. 195



TWITTER

1月31日
東地申35号

京「2021年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ【品川駅】

団体交渉を行う！（その2）

5. 2月1日より施行される新作業ダイヤにおいて内勤営業A・B以外の担務に「企画業務」を平日合計9時間00分、休日13時間00分とした理由を具体的に示すこと。また、企画業務を「内勤業務」とセットにしなければならない根拠を具体的に示すこと。

回答：作業ダイヤは、お客さまのご利用状況等を踏まえ、駅長による定例的な業務指示・命令を図式化したものである。

◆内勤業務とセットになる理由は？
◆山手ホームにいれば山手の事象にはすぐ対応できる。
◆現場では「ホーム業務の手当がなくなる」と不満が出ている。
◆運行に関係する役割の手当は廃止しないようにすること。

組合

会社

◆内勤にいればコミュニケーションがとりやすい。異常時にも駆けつけやすい。
◆どこで事象が起こるかわからない。総合的な駆けつけ体制として、内勤とする。
◆主張は承る。手当は、運行に関わる業務に支払われるものであり、すぐに見直すことは考えていない。 **確認!**
◆執務箇所が変わることで手当が外れることはない。

6. 一部、作業ダイヤ上「立番」から「立番」と移動時間を考慮されない作業ダイヤの考え方を具体的に示すこと。

回答：作業ダイヤは、お客さまのご利用状況等を踏まえ、駅長による定例的な業務指示・命令を図式化したものである。

◆別のホームへ移動する時間が付けられていない。
◆対面交代が基本という考えに変化は？

組合

会社

◆作業ダイヤにおいて、移動時間は含めて良いと認識している。 **確認!**
◆変わっていない。

7. 信号扱い（作業方法）については現行体制を維持した作業体制とすること。

回答：提案の体制で対応可能と考えている。

◆深夜の酔客対応などに不安は残らないのか？
◆工臨運転時の作業方法は、現行通りで行う形でのよいのか？

組合

会社

◆問題があるとは聞いていない。
◆現行通り行うという考えである。 **確認!**

8. 必要な個所の清掃について、その清掃時間を一つの担務に偏ることなく配置すること。

回答：作業ダイヤは、お客さまのご利用状況等を踏まえ、駅長による定例的な業務指示・命令を図式化したものである。

◆清掃は業務で行うという考えに変わりはあるか？
◆コロナウイルス対策についての認識は？

組合

会社

◆考えは変わらない。
◆支社としてバックアップしていく。

9. 今回の施策を進めるうえで、特に安全・安定輸送に関わる設備の整備については、現場社員から意見を聞いたうえで、早急に整備すること。

回答：必要な設備の整備は行っていく考えである。

◆タブレットだけでは業務に支障をきたす。パソコンを全事務所に設置し、バージョンアップ等を行うこと。

組合

会社

◆情報共有は行っていく。

—実施日と要員ありきの施策実施になっていないか？無理ある体制になっていないか？—

輸送サービス労組から検証運動をつくりだし、
安全で安心してご利用いただける駅を実現しよう！